



大砂土中だより

はっ らっ

澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.9 令和4年1月11日号

二十億光年の孤独

校長 高山 裕子

皆様、明けましておめでとうございます。生徒の皆さん、保護者ならびに地域の皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

のんびりと自宅でお正月を過ごしていたとき、テレビから「今日のインタビューは、詩人の谷川俊太郎さんです」という言葉が聞こえ、私は思わず画面を見つめました。谷川さんの詩は教科書でも取り上げられたり、合唱曲にもなったりしていますから、皆さんも一度はその名前を聞いたことがあるのではないのでしょうか。私も大好きな詩人の一人です。

10代から詩をつくり始めた谷川さんが『二十億光年の孤独』で脚光を浴びていらい、今年で70年。これまでに出版した詩集は100冊以上もあり、絵本やエッセイ、童話、翻訳書、作詞など幅広い活動を続けていらっしゃいます。テレビに映る谷川さんは、穏やかで可愛い笑顔を浮かべられ、とても90歳には見えません。そしてこの新春インタビューの中では詩人としての第1作となった『二十億光年の孤独』という詩について、次のように語っていらっしゃいました。

「この詩をつくった頃僕は10代で 思春期で不安になっているわけですよ。自分が一体どこにいるんだろうって。

僕は杉並区に住んでいて 杉並区は東京にあって 東京は日本にあって 日本は地球の上にあるって 地球は太陽系にあって 広げていくと宇宙に行っちゃう。

宇宙のどこかに自分はあるんだっていう意識のなか 自分の座標を決めたかった。

そういう風に感じて書いた詩 若い頃のね なんていうか一種の妄想ですよ。」

因みに『二十億光年の孤独』という詩は、こんなことばで始まります。

人類は小さな球の上で 眠り起き そして働き

ときどき火星に仲間を欲しがったりする

「二十億光年の孤独」谷川俊太郎 集英社文庫より

人類は、地球という小さな球の上で、淡々と当たり前の生活を送りながら、仲間をほしがる愛しい存在…。どうか2022年が人類にとって幸せな一年でありますように。

【表彰の記録】

『さいたま市中学校冬季体育大会』

ソフトテニス女子個人戦 吉田・齋藤ペア 第5位

『令和3年度さいたま市読書感想文コンクール』

推薦賞 畔上 哲矢

特選賞 霜田 玲菜 土門 美琴

入選賞 松島 涼音 坂本 裕紀 関井 遥香

『第19回さいたま市児童生徒作文コンクール』

優秀賞 石橋 葵 中谷 健吾

優良賞 切石 りんご 飯田 美法 沖田 凜 石井 結彩

入選 鴨志田有沙 酒井 莉奈子 中谷 碧 野村 采瑞

手塚 琴音 高村 紗也子 佐藤 優粋 雨谷 奈桜

北條 睦 飯島 十和

【第2回学校評議員連絡会・学校関係者評価委員会】

12月2日（木）に地域の方等をお招きして学校評議員連絡会・学校関係者評価委員会を開催しました。令和4年度から全てのさいたま市内の市立学校が実施するコミュニティ・スクールの熟議について取り組みました。熟議とは、多くの「教育当事者」による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のことです。熟議のテーマを「防災に取り組む生徒の姿」とし、「体力」、「理解力」、「コミュニケーション力」の育成が大切であるとともに「地域と学校が協力して避難訓練をやってみてはどうか」など、活発な熟議となりました。

※コミュニティ・スクールとは、地域住民や保護者等が学校運営に参画し、連携・協働して学校運営に直接関わる仕組みです。学校と地域住民、保護者等の信頼関係を深め、学校運営の改善と生徒の健全育成に取り組みます。



【人権講演会】

12月9日（木）に各担任による人権に関する授業を全てのクラスで行いました。「月や花を思うままに描いてください。」と担任が伝えると「丸い月」、「半月」、「三日月」や「向日葵」を描くなど様々な「月」や「花」の絵を描く姿が印象的でした。これは、同じものを提示しても、人によって思い浮かべるイメージが異なることに気付いてもらうことねらいとして行いました。また、「あなたにとって大切だと思う権利」を大切だと思う順に並べ自分たちが生きる上で欠かせない権利の大切さを考えました。



【赤ちゃん・幼児触れ合い体験】

12月13日（月）15日（水）に3年生の生徒が、おおわだ幼稚園へ赤ちゃん・幼児触れ合い体験で訪問しました。これは、家庭科の授業の一環として、幼児への関心を深め、幼児の心身の発達と生活とそれを支える家族の役割について理解し、幼児との関わり方を工夫できるようにすることを目的としています。生徒は訪問に際して、家庭科の時間に作成した思い思いの幼児向けの玩具を持っていき幼児と触れ合いました。



【未来くる先生ふれ愛講演会】

12月22日（水）に浦和レッズ等のJリーグでご活躍された田口 禎則 様をお招きしてオンラインによる講演会を行いました。プロサッカー選手としての経験をもとに、「人生7つの原則」についてお話いただきました。「過去は過去」「他人は他人」「時は妙薬」「比較は禁物」「考えすぎはご法度」、「笑う門には・・・」という7つの言葉は、生徒一人ひとりの心に響き、3年生のある生徒達は、講演会終了後に田口様へ直接あいさつに伺うほどでした。また、サッカー部の代表生徒とパス回しの実演もしていただき、生徒達は講演会を通して、自分の夢について考えたり、悩んでいることに前向きになれたり、自分を見つめ直す良い機会となりました。



【パソコン教室】

1月5日（水）、6日（木）の2日間にわたり、大砂土東公民館と本校の共同主催による「パソコン教室」を本校で開催しました。講師は本校技術科の野中教諭が務め、生物科学部の生徒がアシスタントとして参加しました。この教室は、公民館が地域の中学校と連携し、世代間交流を図ることを目的として開催されています。「パソコン教室」当日は、写真の取り込みや名刺の作成をし、生物科学部の生徒は、自分のもっている知識や技術を活用して、丁寧に教えている姿が印象的でした。

